

各専門調査会の今後の調査について

専門調査会	役割	調査内容
基本問題専門調査会	男女共同参画の基本的な考え方にかかわるもの、及び、基本的な考え方にかかわりが深く国民の関心も高い個別の重要課題について調査検討。	地域において男女共同参画を一層効果的に推進するため、地方公共団体、男女共同参画センター及び関係団体等からのヒアリングを通じて地域における男女共同参画の現状と課題を分析し、今後の方向性について検討を重ねてきた。本年秋までに報告書をまとめる予定。
女性に対する暴力に関する専門調査会	配偶者からの暴力、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の各分野を念頭におきつつ、今後の施策の在り方などについて調査検討。	配偶者暴力防止法改正法に基づく基本方針の改定内容、及び平成20年度における女性に対する暴力対策関係予算(案)について、関係府省庁からヒアリングを実施したところ。今後、女性に対する暴力についての取り組むべき課題とその対策について調査検討を行う。
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会	男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発等、様々な活動を自らの希望に沿って展開できる社会の実現を目指し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に係る調査検討。	多様性時代において様々なニーズを抱えた男女がそれぞれ持てる能力を存分に発揮できる男女共同参画社会を実現するために、仕事への意欲向上や能力発揮を促すことに留意した「仕事と生活の調和」の取組推進について調査検討を行う。
監視・影響調査専門調査会	各府省において男女共同参画基本計画が確実に実施されているかについて調査検討を行うとともに、男女共同参画社会の形成に影響を及ぼす政府の施策などについて調査検討。	新たな経済社会の潮流の中における生活困難者の問題について、男女共同参画の観点からその問題の所在を探り、実態に即した効果的な支援の在り方について調査検討を行う。

監視・影響調査専門調査会の今後の進め方について（案）

20 年度テーマ案：

新たな経済社会の潮流の中で生活困難を抱える男女について（仮題）

1. 問題意識

- 離婚や未婚者の増加、雇用・就業をめぐる状況の変化、グローバル化・情報化など経済社会環境が大きく変化する中、ひとり親家庭、不安定雇用者、外国人等、生活に困難を抱える人々の状況は多様化かつ深刻化していることが懸念される。
- 特に母子家庭等の経済的自立の困難には雇用における男女差が影響しているなど、生活困難の背景に男女共同参画をめぐる問題が潜む場合も少なくない。
- このような新たな生活困難者の問題について、男女共同参画の観点からその問題の所在を探ると共に、経済社会環境の変化における生活困難者の実態に即した支援の在り方を検討することが求められる。

2. 調査内容

- こうした問題意識の下、
 - ・ 経済社会の変化がもたらす新たな生活困難者とはどのような層か
 - ・ 生活困難者の生活実態はどうか、なぜその状況から抜け出せないのか
 - ・ 生活困難者の社会参加と自立を支援するための施策の在り方を明らかにするための調査検討を行う。

（参考）本テーマに関連する主な施策

男女共同参画基本計画（第2次）の以下の部分のうち関連する施策

- 2. 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
- 3. 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保対策の推進
- 5. 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援
- 7. 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- 10. 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実

その他、テーマに関連する施策